

親子でつくる学習習慣 編

第1号(11.27) 柏崎市教育委員会

全国学力・学習状況調査結果から分析する「家庭学習」

教科に関する調査 質問調査より

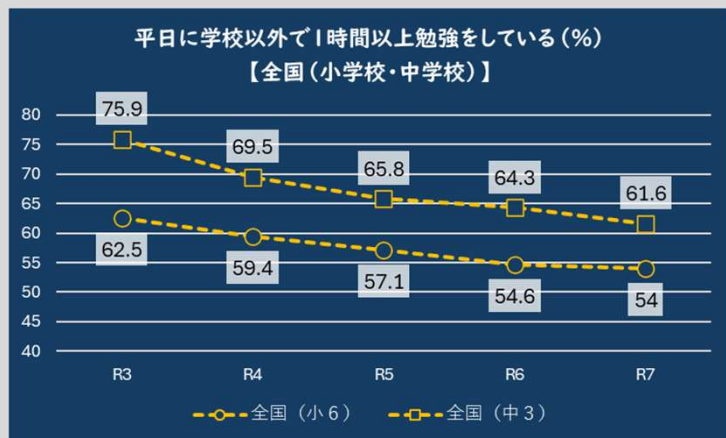
1 「教科に関する調査」では

令和7年度、柏崎市は小・中学校ともに全国平均を上回りました。理科も同様に上回りました。

平均正答率 (%)	小学校 国語	小学校 算数	中学校 国語	中学校 数学
柏崎市	68.6	60.2	56.8	48.6
全国	66.8	58.0	54.3	48.3
新潟県	66.0	56.0	54.0	46.0

2 「質問紙調査」では

全国的に「学校以外で勉強する時間」が減少し、小学校・中学校ともに課題が見られます。



平日に学校以外で1時間以上勉強している割合(全国)

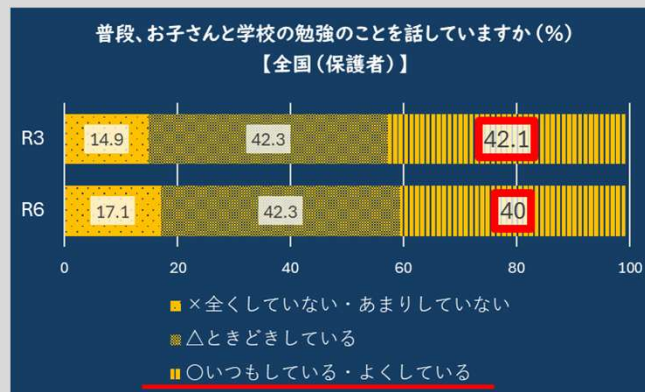
質問紙調査では、児童生徒の学習状況について、基本的な生活習慣、達成感、学習習慣等を12側面で調査しています。

3 家庭にある教育の力「家庭での会話と学習時間」

家庭での子どもとの会話が、家庭学習時間に影響します。

令和6年度全国学力・学習状況調査では、「経年変化分析調査・保護者に対する調査」が行われ、その結果が令和7年7月に公開されました。

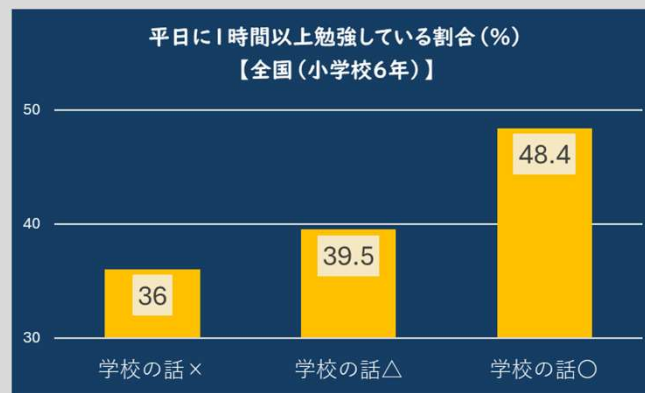
国立教育政策研究所「令和6年度 経年変化分析調査・保護者に対する調査 調査結果資料」



保護者が「学校の勉強のことについてよく話す」と回答した割合は、令和3年度から令和6年度に向けて減少している傾向です。

「話さない」の回答割合は増加しています。

子どもと学校の勉強の話をしている割合(全国)



「学校の勉強のことについてよく話す」と解答した保護者の子どもは、家庭学習時間が高い傾向です。

学校の勉強の話をしている割合と家庭学習時間(全国)

ご家庭でのちょっとした「勉強の話」や声かけが、生活習慣ややる気をぐんと育てます。この通信では、家庭での関わりがより楽しく、前向きになるようなヒントや事例を4回に分けてお届けします。子どもたちが「できた!」と感じられる毎日の学びを応援します。